

令和3年度第2回京田辺市立図書館協議会（会議要旨）

1. 開会

2. 会長あいさつ 原田会長

議事進行は、京田辺市立図書館の管理及び運営に関する規則第22条第3項に基づき図書館協議会会長が務めた。

3. 協議事項

（1）令和3年度図書館利用状況について

（事務局）4月から約2か月間の臨時休館と、8月末からの分室での臨時休館により昨年度との比較は難しい。ただ、令和元年度10月の1か月間だけを比較すると、元年度を上回っている。感覚ではあるが徐々に利用者が戻ってきてているように感じる。貸出利用冊数は10月末時点で、昨年度より約66千冊増加している。

4月からの臨時休館では、5月12日から全館のリクエスト資料を中央のみで貸出し、8月からは分室のみ休館でリクエスト資料を貸出す形となった。中部分室の利用者は中央に来館されるケースが多くなったようだが、北部分室の利用者は、暑さ等もあり中央図書館への来館が難しかったと思われる。

（委員）北部分室を利用しているが、松井ヶ丘周辺からも北部分室は遠く感じる。動線調査が必要。

（委員）全国的に移動図書館が廃止となるケースが多い中、運行していくことは大事である。

（委員）調査には来ている人だけでなく、いろんな人の意見も必要である。

（2）令和3年度図書館事業の開催状況について

（事務局）障がい者サービス・文学講座・絵本読み聞かせ入門講座・映画会・リサイクルコーナー・施設利用・資料展示等、参加人数、内容の説明。

講座に関しては、昨年度と同様に定員を減らし実施。定員を減らさざるを得ない状況ではあるが、その分、講師からの一方的なものではなく、受講生が発表しあいに交流できる講座を目指した。

また、講座修了後も図書館の利用に繋がる講座を開催したいと考えている。夏休みのイベントが開催できない状況等を踏まえ、今年度は、テーマ展示や福袋を作製するなど、「新たな本との出会い」を作ることを目標としている。

テーマ展示では、平和図書展の後に、健康福祉部主催の「認知症啓発」のためのテーマ展示に協力した。また、人権啓発課女性交流支援ルームが共催する事業では、「絵本の魅力」等の話を行

った。今後も市役所の他の課との連携を深め、図書館をアピールしていきたい。

(委員) 福袋は、いろいろな図書館が行っている。他の人に本を選んでもらうのは、嬉しいことである。他の図書館がホームページで公開しているので、参考にして新しい事業を進めてもらいたい。

(3) その他

- ・南部まちづくりセンターについて

(事務局) 南部まちづくりセンターの概要説明。図書館としては、返却スポットと予約資料の受け渡しを行いたいと考えている。

(委員) オープンすれば、図書館に対しての要望が増えると思われる。

- ・複合型公共施設について

(都市みらい室長) 第4次京田辺市総合計画、文化振興計画に基づく、複合型公共施設の概要について説明。内容については、田辺中央北地区の新市街地整備、生涯学習に係る市民アンケート結果、文化ホールに係る関係団体へのヒアリング結果、スケジュール等。

(委員) 住民の期待が、どこにあるのか。よく意見を聴いて欲しい。

4. 閉会

次回開催予定 令和4年3月10日（木）午後3時～